

GREEN RANGER NEWS

2026年5月号 Vol.379



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下101 番地 1
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

あいにくの雨の中の散策となり、途中の水場で自動カメラのメモリーカード入れ替え作業中に、長靴の中に水が入る事態となりました。作業小屋に戻って確認すると靴下はびしょ濡れ！替えの靴下が無いので、その後は裸足でズック靴に履き替えて歩くという羽目になりましたが、帰宅後自動カメラを確認すると混交林では1歳と思われるニホンジカ、水場ではアカゲラ、アナグマの巣穴ではガビチョウがそれぞれ写っており、彼らに元気をもらいました！

●5月24日(日) 自然観察 植林地周辺部の散策

作業小屋へ向かう途中、いつもの場所で濃霧が立ち込めていた。毎年、数回濃霧に遭遇するが、いつも同じ場所で「そろそろ霧が出てきそうだねえ。」と言っていると、スーッと霧が流れてきて、それがだんだん濃くなり対向車が見えにくくなる。カーブも多いし危険ではあるけれど、別世界に迷い込んだような不思議な気分になるのも面白い。

雨のため、午前中の散策は彩遊の森だけとなった。森に入って間もなく、高木が根っこごと持ち上がり倒れていて、大きな穴があいていた。5月に入って暴風が吹き荒れたせいかな？

散策中、倒木を見つけるたびに自然は厳しいなあと思う。嬉しかったのは、以前倒れた木から直角に枝が伸び元気に育っているのを見つけたこと。また、倒れたため伐採した木から「ひこばえ」が出て再生している木もあり、その生命力に感心させられた。

カメラ班はアナグマの森へ。花の咲いたブナの木は沢山の実をつけていた。今年はブナの豊作年だと言われているけれど、私たちの植林地で実をつけたのは、この1本だけのようだ。かなり大木になっているブナもあるので、次の豊作年に期待したい。

午後は、動物観察用のカメラが故障していたため、カメラ班が再度彩遊の森へ。雨が上がり、ツツジの小径を満開のヤマツツジを愛でながら歩いた。この時季は、橙色のヤマツツジやピンクのタニウツギ、ミズキやヤマボウシ、ミツバウツギの白い花が美しい。エゴノキはまだ小さな蕾だが、次回の定例会には満開の花で出迎えてくれそうである。

(6名参加)



カマツカ



タニウツギ



ミツバウツギ



ミズキ



ヤマグワ



ヤブデマリ



ベニバナイチヤクソウ



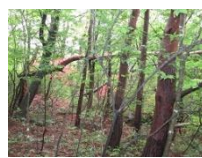
ヤマツツジ



キクラゲ



倒木 1



倒木 2



倒木 3

●5月26日(火) 荒浜海岸林 活力剤散布

宮城農業高校科学部が開発した「桜色活力剤」の2回目の撒布をしました。

散布した11本は枯死することなく順調に伸びているようです。11月に樹高調査をするのが楽しみです。

未散布も含めて全体として、前回より木々も草も元気に伸びていました。ヤマハンノキは本当にすくすくと伸びて、その生命力に圧倒されます。オオバヤシャブシもとても元気です。

(2名参加)



ウワミズザクラ②



アカシデ②



ケヤキ⑤



イヌザクラ



ケヤキ



カスミザクラ⑤



ミズキ③



コナラ①



ブナ①



アベマキ⑤



イタヤカエデ②



全景-1



全景-2



全景-3



フキ



スイバ